

	ランプW数	品 番
一般型 (非常時30分点灯)	9W	LB90030
	13W	LB91030
	30W	LB93030・LB93031・LB93032 LB93033
長時間型 (非常時60分点灯)	13W	LB91066

(一般屋内用) ・器具の取付には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明 工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

48時間充電後 ➡ 非常点灯の確認をしてください。

電池は設置後通電し、
充電しないと非常点灯しません。

安全に関するご注意

⚠ 警告

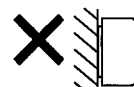
- 施工は、取扱説明書にしたがい確実に行う。
施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。
- 器具を改造したり、構成部品の交換をしない。
火災・感電・落下の原因となります。
- 天井取付専用。右図のような取付をしない。
火災・感電・落下の原因となります。
- 電源は専用回路とし、途中にはスイッチを設けない。
非常点灯しない原因となります。
- 表示された電源電圧（定格電圧±6%）、周波数以外の電源で使用しない。
火災・感電の原因となります。
- 蓄電池を分解したり火や水に投入しない。 火災・破裂・やけど・感電の原因となります。



傾斜した場所



補強のない
薄い場所

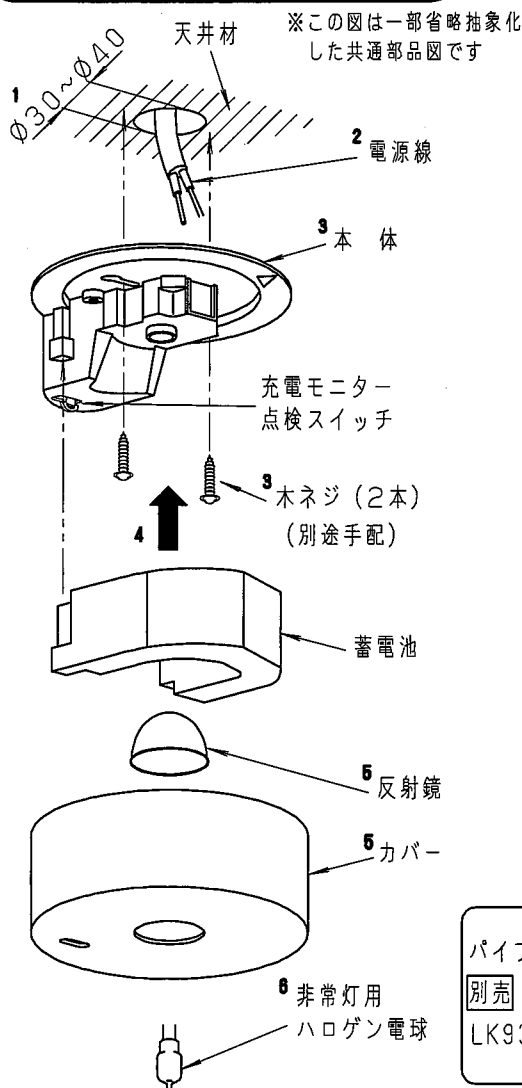


壁面取付

⚠ 注意

- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動のある場所、雨の吹き込みを受ける場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。
火災・感電・落下の原因となります。
- 周囲温度は、5～35℃以外では使用しないでください。 蓄電池の劣化や火災及び非常時点灯しない原因となります。
- 電源を通電せずに、蓄電池を接続したまま放置しないでください。 蓄電池の劣化や短寿命の原因となります。

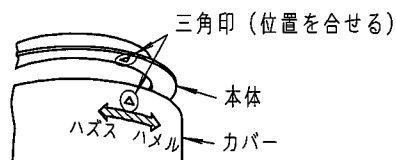
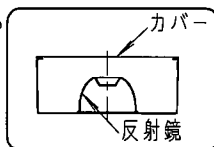
各部のなまえと取付けかた



パイプ吊具
別売
LK93000

5 カバーを取付ける

- ・反射鏡をカバーの中央に配置する。
- ・カバー（反射鏡含む）と本体の三角印を合わせ押し上げて、右に回し本体に取付ける。



取付に不備がありますと器具落下の原因となります。

6 非常灯用ハロゲン電球を確実に取付ける

- * 取付け終了後、48時間以上通電した後、電源通電状態で緑色の充電モニターが点灯していることをご確認ください。
- また、点検スイッチを引っ張って、ランプの点灯をご確認ください。

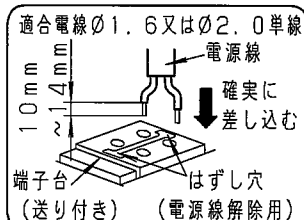
1 取付け前の確認

- ・器具質量 (LB93030の場合; 1.3kg) に十分耐えるよう取付部の強度を確保してください。ロックール等のやわらかい天井に取付ける場合は、必ず天井裏に補強材等を入れ強度を確保してください。不備がありますと落下の原因となります。

2 電源線を端子台に接続する。

- ・必ず電源を切ってから電源線を接続する。

端子台容量は20Aです。接続が不完全の場合、容量オーバーした場合は、火災の原因となります。

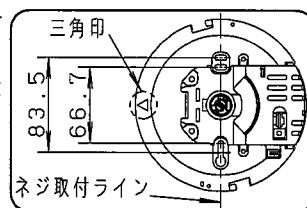


3 本体を取付ける

- ・木ネジ (別途) で本体部位を確実に取付ける。(推奨ネジ: 呼び3.8長さ38)

不備がありますと器具落下の原因となります。

※ネジ取付ラインと三角印を目安に、器具取付方向が同一になる様施工することをお勧めします。



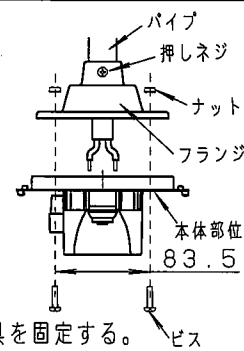
パイプ吊具の場合 (別売)

1. パイプにフランジをねじ込む (上下2ヶ)

取付に不備がありますと器具落下の原因となります。

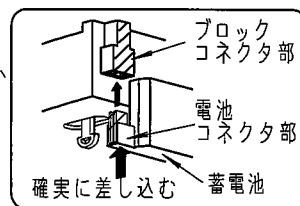
2. 押しネジを上下2ヶ所締める
締付けが不完全な場合、落下の原因となります。

3. 付属のビスとナットで取付金具を固定する。
締付けが不完全な場合、落下の原因となります。



4 蓄電池を取付ける

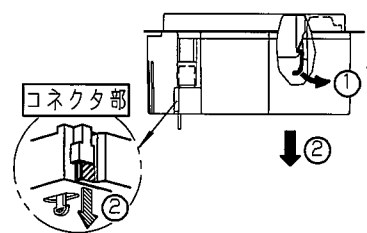
- ・ブロックコネクタ部に合わせ、蓄電池を押し上げる。
電池コネクタ部は確実に押し込んでください。



接続が不完全の場合、非常灯灯しません。

電池のはずし方

- ① 矢印側にパネを押す
- ② 押し下げる



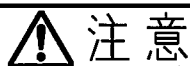
お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意



- 器具を改造しない。感電・火災の原因となります。
- 異常を感じたら速やかに電源を切り、販売店・電気工事に相談する。火災・感電の原因となります。



- アルカリ系洗剤は使用しないでください。強度低下による破損の原因となります。
 - 電池を加熱したり、火や水の中に入れたりしないでください。破裂する危険があります。
 - 電池は絶対に分解しないでください。やけど、感電の原因となります。電池内の液は、皮膚や衣類をいためます。
 - 電池のショートは絶対にさけてください。火災・破裂・やけど・感電の原因となります。
 - 長時間器具を使用しないときは、蓄電池は外してください。蓄電池の劣化や短寿命の原因となります。
 - 照明器具には寿命があります。(※1)
- 法令に基づいて定期的に点検を実施してください。
- 点検せずに長時間使い続けるとまれに火災・感電・落下などに至る場合があります。

※1 照明器具は、使用条件、使用環境で異なりますが、8～10年が取り替え時期の目安です。但し、蓄電池は、4～6年です。

器具定格・仕様

接續図についてはブロックの銘板、定格については器具の銘板をご参照ください。

定期点検について

- 3ヶ月に1回は、破損、変形などの外観の点検をお勧めします。
●6ヶ月に1回は、外観点検と機能点検を併せて行ってください。
(点検については、誘導灯は消防法令、非常用照明器具は建築基準法令に定められていますので必ず実施ください。)

定期点検（3ヶ月1回）の処置・対策

点検項目	確認項目	原因	対策
外 観	器具の変形、損傷の有無		器具又は部品交換
	反射鏡の汚れ		柔らかい布でふく
機 能	充電モニター (緑色) 点灯の有無	消灯	●ランプのゆるみ ●フィラメントの断線 ●ランプを正常に取付 ●ランプを交換
	点灯	●蓄電池コネクタのはずれ ●蓄電池ヒューズ切れ	●コネクタを確実に接続 ヒューズ交換 (ヒューズ定格10A)
	点検スイッチを引っ張り非常点灯に切替る	いいえ	充電不足 48時間以上充電
	点検スイッチを引っ張り非常点灯に切替る	いいえ	ブロックの異常 ブロックセットの交換
	はい	はい	48時間以上通電している
	電源を切る		
	30分間の非常点灯を維持できる (長時間型の場合60分間)	いいえ	蓄電池の寿命 蓄電池の交換
		はい	電源を通電
	充電モニター (緑色) 点灯の有無	完了	点検結果の記録

点検記録

[illegible]

保証について

- 保証について・・・この商品の保証期間は1年間です。ランプ・電池等の消耗品は除きます。
詳細は弊社カタログをご参照ください。
- 保証書について・・・保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。

取付後の確認とお願い

48時間以上器具に通電した後に、以下の項目をご確認ください。

- 充電モニターが点灯していることを確認してください。
- 点検スイッチを引っ張って点灯を確認してください。30分以上（長時間型の場合は60分以上）点灯すれば正常です。
- 点検時以外は点検スイッチを操作しないでください。
- 電源を通電しないまま電池コネクタをつないで放置しないでください。非常時に点灯しません。また、蓄電池の寿命が短くなります。

器具の種類と交換部品

品 番	交換電池	適合ランプ
LB90030	FK796C (3.6V 3000mAh)	JE3.6V 9W
LB91030	FK796C (3.6V 3000mAh)	JE3.6V 13W
LB93030・LB93031・LB93032 LB93033	FK799C (8.4V 3000mAh)	JE8.4V 30W
LB91066	FK799C (8.4V 3000mAh)	JE8.4V 13W



注意

蓄電池・ランプ交換時は、器具に取付けられている蓄電池・ランプと同じパナソニック製の蓄電池・ランプにお取り換えください。故障、ランプ破損の原因となります。



Ni-MH

この器具は、ニッケル水素電池を使用しております。ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
ニッケル水素電池の交換及び使用済製品の破棄に際してはニッケル水素電池を取り出しリサイクルへご協力ください。

パナソニック株式会社 ライティング機器ビジネスユニット 〒571-8686 大阪府門真市門真1048
お問い合わせ先 パナソニックお客様ご相談センター 0120-878-365 (フリーダイヤル) 0120-878-236 (FAX)

N0903-110615

